

令和7年長野市消防局における救急出動の状況(確定値)について

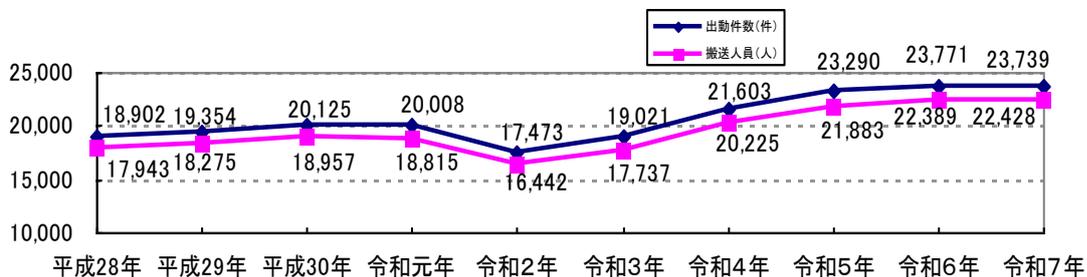


1 救急出動件数・搬送人員について

消防局管内（長野市及び周辺3町村）の救急出動件数は23,739件であり、前年（令和6年）の23,771件と比較して32件、約0.1%減少しました。また、搬送人員は22,428人で前年の22,389人と比較して39人、約0.2%増加しており、搬送人員は昭和39年の救急業務開始以来、最多となっています。

この状況を平均換算すると、長野市消防局の救急自動車は22分6秒に1回の割合で出動し、管内住民の約17人に1人の方が搬送されたこととなります。

【救急出動件数及び搬送人員の推移】



2 事故種別出動件数について

救急出動件数を事故種別でみると、急病が16,186件と前年に比べ90件増加し、全体の68.2%を占めています。続いて一般負傷が3,831件、23件の減少で16.1%、転院搬送が1,813件、107件の減少で7.6%、交通事故が1,010件、14件の増加で4.3%を占めています。

【事故種別出動件数及び搬送人員内訳】

事故種別	事故種別出動件数					事故種別搬送人員				
	令和7年		令和6年		前年比 増減	令和7年		令和6年		前年比 増減
	出動件数	構成比	出動件数	構成比		搬送人員	構成比	搬送人員	構成比	
急病	16,186	68.2%	16,096	67.7%	+90	15,457	68.9%	15,312	68.4%	+145
交通事故	1,010	4.3%	996	4.2%	+14	993	4.4%	993	4.4%	+0
一般負傷	3,831	16.1%	3,854	16.2%	-23	3,679	16.4%	3,709	16.6%	-30
加害	64	0.3%	62	0.3%	+2	57	0.3%	53	0.2%	+4
自損行為	183	0.8%	190	0.8%	-7	150	0.7%	151	0.7%	-1
労働災害	166	0.7%	147	0.6%	+19	162	0.7%	145	0.6%	+17
運動競技	108	0.5%	107	0.5%	+1	106	0.5%	107	0.5%	-1
火災	75	0.3%	69	0.3%	+6	21	0.1%	14	0.1%	+7
水難	2	0.0%	1	0.0%	+1	2	0.0%	0	0.0%	+2
自然災害	0	0.0%	0	0.0%	0	0	0.0%	0	0.0%	0
転院搬送	1,813	7.6%	1,920	8.1%	-107	1,801	8.0%	1,905	8.5%	-104
その他	301	1.2%	329	1.4%	-28	0	0.0%	0	0.0%	0
合計	23,739	100.0%	23,771	100.0%	-32	22,428	100.0%	22,389	100.0%	+39

※端数処理（四捨五入）のため割合の合計は100%にならない場合があります。

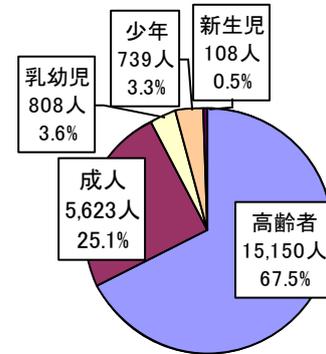
3 年齢区分別搬送人員について

年齢別の搬送人員は、高齢者が 15,150 人と最も多く、全体の 67.5%を占めています。続いて成人が 5,623 人で 25.1%、少年が 739 人で 3.3%、乳幼児が 808 人で 3.6%、新生児が 108 人で 0.5%を占めています。

【年齢区分別搬送人員内訳】

【令和7年 年齢区分別搬送人員】

年齢区分	令和7年		令和6年		前年比 増減
	搬送人員	構成比	搬送人員	構成比	
高齢者	15,150	67.5%	15,375	68.7%	-225
成人	5,623	25.1%	5,512	24.6%	+111
少年	739	3.3%	674	3.0%	+65
乳幼児	808	3.6%	745	3.3%	+63
新生児	108	0.5%	83	0.4%	+25
合計	22,428	100.0%	22,389	100.0%	+39



※端数処理（四捨五入）のため割合の合計は 100%にならない場合があります。

・高齢者：65歳以上 ・成人：18歳以上65歳未満 ・少年：7歳以上18歳未満 ・乳幼児：生後28日以上7歳未満 ・新生児：生後28日未満

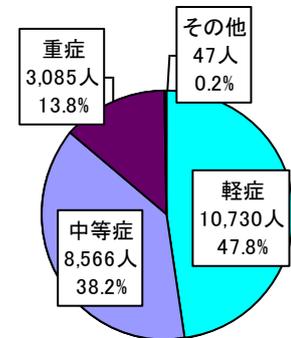
4 傷病程度別搬送人員について

傷病程度別では軽症が最も多く、10,730人で全体の47.8%を占めています。続いて中等症が 8,566人で38.2%、重症が3,085人で13.8%、その他が47人で0.2%を占めています。

【傷病程度別搬送人員内訳】

【令和7年 傷病程度別搬送人員】

傷病程度	令和7年		令和6年		前年比 増減
	搬送人員	構成比	搬送人員	構成比	
重症	3,085	13.8%	2,891	12.9%	+194
中等症	8,566	38.2%	8,590	38.4%	-24
軽症	10,730	47.8%	10,863	48.5%	-133
その他	47	0.2%	45	0.2%	+2
合計	22,428	100.0%	22,389	100.0%	+39



※端数処理（四捨五入）のため割合の合計は 100%にならない場合があります。

・重症：3週間以上の入院加療を必要とするもの ・中等症：重症又は軽症以外のもの ・軽症：入院加療を必要としないもの
 ・その他：初診時に死亡が確認されたもの、医師の診断がないもの

5 救急需要増大への取り組み

高齢化の進展、熱中症患者の増加、新興感染症の流行等により、今後も救急需要の増大及び多様化が見込まれる中、長野市消防局では、不要不急の救急出動の抑制や救急医療機関の受診の適正化につながる「長野県救急安心センター#7119」の利用促進を図り、救急車の適時・適切な利用について市民の皆様にご協力をいただきながら、増加を続ける救急需要への対応に取り組んでまいります。併せて、救急救命士の養成、医師同乗出動及び救急隊員の研修体制を含めた救急ワークステーション事業等の効果的な運用を行い、病院前救護体制の充実強化に努めてまいります。

